



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
購読料 1カ月5343円+税
電話 東京 (03)5777-2351 代表
©日刊自動車新聞社2021

3月16日
(火曜日)

ダイヤモンド電機

北米に点火コイル工場新設

フォード向け 生産能力を增强 受注に対応

ダイヤモンド電機は、米国ウエストバージニア州に自動車向け点火コイルを製造する工場を新設する。米国での独占禁止法違反が発覚してから、主要納入先だったフォード・モーターからの新規の受注が停止され、事業を縮小していた。その後、フォードが新規発注を再開、さらに大口受注を獲得したことから米国での点火コイルの生産能力を增强して、点火コイル事業の拡大を狙う。



米国ダイヤモンド電機本社

製造子会社の米国ダイヤモンド電機の本社敷地内に点火コイルを製造する工場を新設して、2022年4月にフォードから新規受注した製品の量産を開始する予定。投資額は16億円で、米国での点火コイルの生産能力を2割増に引

き上げる。フォードはダイヤモンド電機の主要納入先だったものの、13年にフォードなどに販売していた点火コイルで、他メーカーと価格調整するなど、米独占禁止法違反が発覚した。これを受けてフォード

向けに一部供給は続いていたものの、15年以降、新規受注はストップしている状態が続いた。ダイヤモンド電機では、当局と罰金を支払う司法取引に応じた後、経営陣を入れ替え、再発防止を徹底して企業

は、再発防止を徹底して企業

体質の改善や、品質向上の取り組みに注力してきた。この結果、17年にはフォードが新規発注を再開し、20年3月に既存の米国工場とフォード向け点火コイルの量産を始めた。さらにフォードから新規受注を獲得し、既存工場の生産能力では対応しきれないことから工場を新設して生産能力を增强する。

ダイヤモンド電機は21年度を最終年度とする中期経営計画で、点火コイルのグローバルシェアトップを目標に掲げている。フォードからの受注本格化と、米国新工場を活用することで点火コイル事業の拡大を本格化する意向だ。

米国新工場の建物面積は1万2263平方メートル。既存の北米生産拠点は、フォード向けのほか、日系自動車メーカーの北米生産拠点が主な供給先で、一部は中国にも輸出している。

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。

掲載日 2021年3月16日 日刊自動車新聞 3面 ©日刊自動車新聞社 無断複製転載を禁じます。